

**「平成30年7月豪雨」で被災された皆様へ、
お見舞いを申し上げます**

この度の未曾有の豪雨災害でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、ご家族の皆様にお悔やみを申し上げます。また、被災された地域の皆様が、一日でも早く安心して元の暮らしにお戻りになれるよう、願っております。

さて、被災された地域の協会や会員におかれましては、救援活動や復旧活動にご尽力なされていることと推察いたします。全建といたしましては、皆様のご尽力に敬意を表するとともに、皆様の技術者としてのご活躍に期待がかけられておりますことを改めてお伝えたく存じます。

第61回定時社員総会が開催される

平成30年6月29日（金）、本会の第61回定時社員総会が東京都千代田区のアルカディア市ヶ谷において開催されました。

第61回定時社員総会は午後1時から、出席正会員112名、委任状47,622名、議決権合計47,734名（総会成立定足数30,004名）のもとに開催され、はじめに大石久和会長の挨拶があり、続いて本協会顧問の参議院議員足立敏之氏、ご来賓の松原裕氏（国土交通省大臣官房技術総括審議官）、五道仁実氏（国土交通省大臣官房技術審議官）、岡貞行氏（農林水産省水産庁漁港漁場整備部長）のご祝辞、さらに本協会顧問参議院議員佐藤信秋氏の後援会副代表中神陽一氏、本会企画委員会副委員長の酒井洋一氏（国土交通省大臣官房技術調査官）のご紹介と、順次進められました。

続いて、本会の久石久和会長を議長に選出して下記議題の審議に入り、第1号議案、第2号議案は原案のとおり承認されました。

なお、第2号議案「役員選任の件」については、大石議長から選任方法について会員に諮ったところ「本部一任」となり、提出された本部案が承認されたものです。

第1号議案 平成29年度決算の承認の件
関連事業報告

- ①平成29年度事業報告の報告の件
- ②公益的目的支出計画実施報告の報告の件
- ③平成30年度事業計画及び予算の報告の件

第2号議案 役員選任の件

議題の審議終了後、退任することとなった前田副会長の閉会の挨拶をもって、第61回定時社員総会はつつがなく終了しました。

なお、承認された新役員は以下のとおりです。

役職	氏名	備考
会 長	大石 久和	元国土交通省技監
副会長	寺本 邦一	元国土交通省大臣官房技術調査官
〃	小川 富由	元国土技術総合政策研究所副所長
〃	小原 恒平	元国土交通省九州地方整備局長
〃	西倉 鉄也	東京都建設局長
理 事	西植 博	元国土交通省中国地方整備局副局長
〃	松本 直也	元国土交通省中国地方整備局副局長
〃	藤井 元生	元国土交通省九州地方整備局副局長
〃	宇賀神 義宣	元農林水産省水産庁漁港漁場整備部長
〃	北谷 啓幸	北海道建設部技監
〃	安田 博道	福島県土木部道路総室次長
〃	御園 直樹	公益財団法人千葉県建設技術センター専務理事
〃	猿田 佳三	水戸市建設部長
〃	梅澤 賢一	甲府市上下水道局工務部長
〃	江幡 光博	富山県土木部次長
〃	長縄 知行	静岡県交通基盤部理事（土木技術担当）
〃	服部 洋平	兵庫県県土整備部土木局長
〃	小澤 雅史	山口県土木建築部次長
〃	片山 秀樹	香川県理事
〃	玉丸 義明	佐賀県県土整備部副部長
〃	山口 直宏	中日本高速道路(株)建設企画部建設企画チーム チームリーダー
専務理事	中嶋 章雅	元国土交通省九州地方整備局長
常務理事	秋山 幸男	元埼玉県都市整備部長
監 事	染矢 康弘	元国土交通省港湾局建設課港湾事業監理官
〃	青木 秀幸	東京都水道局浄水部長

理事23名 監事 2名 下線部は新任役員



主催者挨拶を行う大石会長



総会の様子

谷口賞等の個人表彰や 平成29年度全建賞の表彰が行われる

表彰式は、総会に先立ち平成30年6月29日（金）午前10時に開式され、谷口賞・谷口功労賞・小沢賞の各受賞者と、全建功労賞及び長期会員表彰の代表受賞者合わせて71名、新協会設立功労表彰2協会、さらに全建賞の実施機関94名と賛助会員の代表者50名が出席し実施されました。

最初に大石会長の挨拶があり、続いてご来賓の森昌文氏（国土交通省技監）、石田東生全建賞審査委員長（筑波大学名誉教授・特命教授）からご祝辞をいただきました。続いて、本協会企画委員会副委員長の酒井洋一氏（国土交通省大臣官房技術調査官）のご紹介がなされました。

表彰は、谷口賞、谷口功労賞、小沢賞、全建功労賞、長期会員、新協会設立功労、全建賞の順で行われ、大石会長から賞状が授与されました。

授賞終了後、全受賞者を代表して谷口賞受賞者の深澤淳志氏からの謝辞があり、表彰式は終了しました。

表彰者の詳細については、本誌90～98ページをご覧ください。



大石会長から深澤氏へ
谷口賞の授与



全受賞者代表の
深澤氏からの謝辞

実地研修会「明石海峡大橋 ～世界最長吊り橋の維持管理～」を開催

実地研修会「明石海峡大橋」が、西日本を中心に襲った「平成30年7月豪雨」の直中となった平成30年7月5日（木）～6日（金）の日程で、全国から65名の参加を得て兵庫県神戸市で開催されました。

初日は、雨に見舞われてはいたものの、神戸市内では特に大きな影響もなく、現地視察の理解を深めるための明石海峡大橋の概要や視察のポイントなどの情報を事前に学習するため、本州四国連絡高速道路株式会社企画部次長の今井清裕氏を講師に迎え、聴講会を予定どおり行いました。

2日目の現地視察は、集合場所となった明石海峡大橋本州側橋脚の脇にある「橋の科学館」へは参加者のほぼ全員が集合し、本州四国連絡高速道路株式会社企画部企画課長代理の大倉章弘氏から現地の説

明をいただきました。しかし、その後の豪雨により、鉄道や高速道路などが時々刻々と運転見合わせや通行止めとなる状況に鑑み、「橋の科学館」見学途中で研修会を打ち切りとしました。

参加者の皆様には、橋の点検通路や海面から300mの主塔頂などでの説明が受けられず、主催者としてお詫びいたします。

なお、初日の講習後には、受講者や本州四国連絡高速道路株式会社の講師など総勢24名が参加し、交流会が行われました。交流会は、意見交換が尽きずに2時間近くも行われる盛況なものでした。



今井講師の講義を聴講する
参加者賞の授与



橋の科学館で大倉氏の
説明を受ける参加者

「2019年全建手帳」大きく改定し、 8月下旬発刊予定！

2019年版全建手帳は、今年も会員皆様のご意見を反映させ、さらに使いやすくなるよう大きく改定を行いました。

本手帳は一般の手帳の便利さに加え、社会資本、災害関連の統計資料などを充実して掲載し、技術者の皆様により使いやすい内容となっています。

主な特徴は、次のようなものです。

- 昨年より一回りサイズを大きくし、より使いやすい大きさになりました。
- 便利なペン差し付き大型ポケットにしました。
- 用紙を文字が裏写りにくい薄黄色にしました。
- 資料編を2色化し、見やすくしました。資料編には、近代日本の主な災害、災害用伝言ダイヤル、都道府県データ、関係機関の電話番号、年齢早見表など、多くの資料が掲載されています。
- カレンダーの収録期間が2018年11月1日から2020年3月31日までと長く、新しい手帳への移行に便利です。また、建設技術関係の月間や記念日、地域のお祭り、イベント予定日などを掲載しました。
- 定価700円（税込）

【問い合わせ先】

会員課 露木 竹村

TEL：03-3585-4546 FAX：03-3586-6640

E-mail：kikaku@zenken.com